

和き・合い・愛 チャレンジキャンプ 特別講演会・情報交換会

対象

保護者・教員（21名参加）

日時

令和6年11月22日（金）

趣旨

知的障がいのある児童・生徒の保護者が、他の家族と交流する機会の提供や進学、就労等についての情報交換等を行い、参加者のネットワーク構築を図る。

プログラム

11月22日（金）	9:40	10:00	10:10	11:15	12:00
	受付	開会	講演会 「知的障がいを持つ子の進路」 講師 T-challenge 統括部長 永田 淳哉 氏	情報交換会 「進路について」	閉会

講演会



事業前半は、幅広い年代の障がい者支援を実践しているT-challenge 統括部長の永田氏をお招きして、「知的障がいを持つ子の進路」をテーマに講演を行っていただきました。

義務教育後の進路、18歳以降の進路選択肢、学齢期に身に着けたいスキル、当事者と保護者目線でのより良い進路選択の視点など多岐にわたる内容で、参加者にとって充実した時間となりました。また、永田氏の温かい人柄と障がい者福祉に関する熱い想いは参加者を安心させ、今後の子育てや教育活動を後押しする機会になったように感じました。

情報交換会

事業後半は、講演会で学んだことをもとに小グループに分かれて「進路」に関するワークショップを実施しました。保護者のグループでは、「進路」だけに限らず、家庭での子育てについて意見交換する様子が見られました。教員のグループでは、異校種間での指導法の共有や進路指導についての情報交換を行っていました。

どちらのグループも講演会で得た情報をもとに、永田氏に質問を行うなど有意義な時間となりました。



参加者の声

- ・自分自身が我が子に対してやってきたことが間違っていなかった！確信につながりました。（保護者の方）
- ・参加された保護者のお子さんへの思いは、お子さんの年齢に関係なく同じだなあと改めて感じました。（保護者の方）
- ・市外の先生方と交流する機会はほとんどありませんでしたが、今回、市外の学校で交流することができ、新たな発見がたくさんありました。（教員の方）

社教センター
HP